





















幼児は、言葉や行動などに表れます。幼児ならではの感じ方や、理解の仕方を見てみましょう。

めくまるちずがあったよ。

あ、おひさまがきにぶつかってわれちゃうよ！

いっばいおしゃくさんのね。てんしゃがおもたいていてるよ。

どんぐりって、こんなところにあるんだね。

おにいちゃん、これクリだよ！

9月生まれ

12月生まれ

ほくよりおそく生まれたのに、ママはどうしてほくよりおおきいの？

あめがふったら、さくらにかきさしてあげようね。

毎日新聞社『子供のつふやき 親がハッと驚きクスッと笑ってしまう』、朝日新聞社『あのね 子どものつふやき』などより作成

活動 幼児の世界を体験しよう

安全に配慮して、次の①、②を行い、気付いたことや感じたことを挙げましょう。また、それをもとに幼児の安全について考えたり、関わり方を工夫したりしましょう。

① 子どもの視界体験眼鏡(巻末付録)を使って幼児の視界を体験しましょう。

- ・ その場でしゃがむ、歩く。
- ・ 玄関、台所、洗面所、浴室、階段、トイレなど、住まいの中を見る。
- ・ 学校の中や地域の公園や歩道、駅などを見る。

② 幼児の歩行を体験しましょう。

- ・ 幼児の歩幅や歩行速度を意識して歩く。
- ・ 友達とペアになり、幼児役と中学生役を決めて、手をつないで歩く。

3～5歳頃

2～2歳頃

4歳の歩幅: 約42cm 成人の歩幅: 約68cm

リンク p.170 家族の住まいを安全・安心に巻末付録 子どもの視界体験眼鏡

手をつないで歩くとう感じるだろう？

幼児にとって危険な場所はないかな？

幼児は体が小さいから、歩幅や歩く速度が大人とは違うよ。